



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2013-2014 年度 No. 8

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2013-2014 年度 会長 水島政光、幹事 三角信行

2013-2014 年度 RI テーマ



「ロータリーを 実践し

みんなに 豊かな人生を」

(ロン D. パートン会長)

例 会 記 録

第 1 6 8 5 回例会

平成 2 5 年 8 月 2 8 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：それでこそロータリー



3. 会長の時間：湯浅ガバナーが富山大空襲のことを覚えていっていると温故知新に書いてあります。昨日城端でクマが出ました。エサを求めて里まで来たのでしょうか。ビールが明治時代に入ってきました。明治 2 4 年 8 月 2 9 日の新聞一面に掲載された。



4. 幹事報告：① 9 月のレートは 1 \$ = 1 0 0 円。
② 財団学友会ニュースレターは各テーブルに配布
③ 例会後理事会を開催します
5. ニコニコ B O X (SAA : 本日 6 名)

高瀬会員：朝晩は秋の虫の鳴き声が聞こえます。そろそろセミと交代の時季ですね。所要があり早退します。中島さん卓話聞けなくてごめんなさい。

中島会員：息子のラーメン店が明日から 1 1 月末までの 3 か月間青森県五所川原町の大型ショッピングゾーンに店を出すことになりました。東北の人の口に合うかどうか心配ですが、陰ながら応援したいと思います。

小西会員：毎年、魚津じゃんとこい祭りのせり込み蝶六の踊りを観に行きますが、今年は貴賓席（名誉市民）の中尾哲雄さんとお会いして、夫婦で記念写真を。本日、葉書が届き、1 年の礼と現在オーストリア滞在報告。

山本会員：日月火と釜山の水道水フロリデーションを研修してきました。今回で 6 度目です。

河合会員：ガバナー公式訪問の日に欠席するのは大変罪悪感を持つものです。造園組合 1 0 人で京都貴船の川床などを含め研修会でした。

岩崎会員：てんたかく刈取り 1 . 2 ha で終了です。夕立が来ないことを祈ります。早退します。



卓話 「 私の職業紹介 」 中島眞市

今日は、マーシ園の業務内容、利用者さんのこと等々について少し時間をいただきます。

マーシ園は昭和 34 年に創立されて今年で満 54 年、半世紀以上の歴史があり、県内で一番古い施設であります。（全国的にも古い歴史）昭和 34 年に、県の養蚕試験場跡地を買収し、山見地区で数人の利用者さんによりスタートしました。（永楽付近）

作業所が手狭になったため、昭和 37 年、場所を変えて拡張されました。場所は、現在の南砺市民病院の東側で、庄川町との町境でありました。

そして、11 年後の昭和 48 年に 2 度目の移転を行い、旧南山見小学校跡地、現在地に移転しました。

現在の島田理事長は 6 代目ですが、現在地に移転当時は 2 代目理事長の島田英治さんでありました。配布資料の中に、慈母観音像の写真コピーがあると思いますが、島田英治理事長が寄贈されたものであり、制作は、横山豊介先生であります。（母が子に対するがごとく、どこまでも深く大きい慈愛の心を表した菩薩像）

今日まで 40 年間、マーシ園を見守っていただいております。

マーシ園の「マーシ」について少し申し上げたいと思いますが、専門家の高瀬先生がおられますので、間違っておればお教えいただきたいと思います。

マーシとは、古代インドの言語であります、梵語、サンスクリット語というほうが正しいかもしれませんが、親が子供をいつくしみ可愛がるような深い愛情という意味の「慈愛」。英語では、いつくしみあわれみというような意味で「慈悲」と理解しております。

事業内容について少し紹介します。パンフレットをご覧ください。

大きく分けて八つの事業を展開しています。8 事業で毎日およそ 200 名の方がサービスを受けておられます。

利用の契約や利用登録されている方は、現在約 300 名であります。週 2～3 日利用の方もおられますので、1 日平均 200 名程となります。

その内、マーシ園で生活しておられる方（入所利用者）は、90 数名です。

徐々に減ってはきましたが、県外からの入所者もおられ、（県はもとより全国的にも早くできた施設の為）現在、東京、新潟、岐阜、石川など出身者、9 名。

また、県内でも南砺市以外の方が、富山、黒部、滑川、射水、氷見、砺波など 40 名で残り 40 名ほどが南砺市出身者です。

簡単にパンフレットに基づき説明します。
残された時間で、日ごろ職場で取り入れています自己診断について紹介し、実際に行っていただきたいと思います。
ア まず、職員に対する診断、今日は 2 種類用意しました。実際は 4 種類程使っています。

毎日の仕事、とてもハードで心身ともに疲れが目立ち、中には鬱になり離脱するものもあります。

毎日がハプニングの連続、想定外の出来事があります。（障害の内容によっては、同じ方でも毎日変化される。…その対応）（徘徊ではないが、連絡なしに外に出かけ搜索する。）（重度のテンカン発作による救急搬送）等など大変、精神的にも、身体的にもまいってしまう。
そんな時、定期的に疲労度チェックを実施⇒ 2 週間に一回程度 各自で行う

重度の判定が出れば、本人の意思に関係なく、休んでもらうようにしている。でないと、大きなミスにつながる。

イ もう一つのものは、職員ではなく利用者さん用で、各種の支援の参考にしている。

これは、「認知症の人と家族の会」⇒全国組織があり、富山県支部もある。が、日頃の経験からまとめられたもので、私たちも判断の一つとして採用しています。

この結果を踏まえ、家族の意見も聞きながら医療機関等に繋いでいる。

市民病院でしたら、週一回ですが、物忘れ外来（完全予約制）、認知症の方を対象としたグループホーム（五領島交差点・ニチイ学館経営）、富山型デイサービス、重度であれば、専門の病院（北陸病院等）

皆さんには大変失礼とは存じますが、めやす表に、チェックしてみてください。

時間が来ましたので、終わらせていただきます。ありがとうございます。

閉会点鐘